

実用英語教育学会第 13 回研究大会・総会 (Zoom によるオンライン) のご案内

ビジョン 3-16：地域の視点を通じた英語教育実践

新型コロナウイルスもようやく落ち着くなかで、日本や世界でいま起こっていること、これからできることについて学び、考え、可能であれば実践していきたいものですね。今回の研究大会には、苫小牧高専の鈴木先生と谷口先生、上川高校の森長先生、留萌小学校の滝本先生をお迎えします。先生方のご報告を通して、今の時代の英語教育についてあらためて考える機会となれば幸いです。全国各地で英語を子どもたちの日常生活の中に定着させようと日々奮闘しておられる先生方が、日々の教育現場で最大限に生かしていくための指針やインスピレーションを得る機会となることを願いつつ、ご案内いたします。

日 時： 2024 年 2 月 17 日(土) 受付:午前 9:50～

総会・研究大会 午前 10:00～12:30

場 所： Zoom によるオンライン

参加費： 無料

***参加申込は下のリンク (QR コード) から専用フォームでお願いいたします。**

申込締切は 2 月 15 日 (木) 23:59 までとなっております。100 名になりましたら、期日前に締め切らせていただくこともありますので、ご了承ください。

申込用 URL <https://forms.gle/8AT4bhNNc96fucMZ6>



大会事務局

実用英語教育学会 (SPELT) 事務局

〒065-8567 札幌市東区北 16 条東 9 丁目 1 番 1 号

札幌大谷大学社会学部地域社会学科 石川希美 研究室内

TEL: 011-742-1651 (代)

FAX: 011-742-1654 (※社会学部石川希美宛と明記してください)

E-mail: info@spelt.main.jp (事務局担当者共有アドレス)

プログラム (敬称略)

- 9:50- 受付 (Zoom 入室) 開始
- 10:00-10:05 開会・司会: 三浦 寛子 (北海道科学大学)
会長挨拶: 釣 晴彦 (北海道文教大学)
- 10:05-10:15 総会 事務局: 竹内 典彦 (北海道情報大学)
会計: 石川 希美 (札幌大谷大学)
会計監査: 山崎 秀樹 (立命館慶祥高校)
- 10:15- 研究大会開会
- 10:15-10:55 実践報告: 鈴木 修平 (苫小牧高専)・谷口 陽子 (同左)
- 10:55-11:00 休憩
- 11:00-11:40 実践報告: 森長 大輔 (上川高校)
- 11:40-11:45 休憩
- 11:45-12:25 研究報告: 滝本 有香 (留萌小学校・留萌管内教育研究所員)
- 12:25-12:30 閉会・閉会挨拶: 杉浦 理恵 (東海大学)

報告概要

10:15-10:55 実践報告：鈴木 修平（苫小牧高専）・谷口 陽子（同左）

「多様な視点で地域を捉える英語を通じた探求学習—苫小牧高専 English Camp の取り組み」

概要：

苫小牧工業高等専門学校では、過去2年間、学内の英語学習者の関心に応えるために、イングリッシュキャンプを開催してきた。このキャンプは、主な目的として次の2点に焦点を当てている。1つ目は、地域社会との関わり合いの中で、英語でのスピーキングとリスニングの力を向上させること。2つ目は、様々なグループ活動により、外国人旅行者に対して苫小牧のユニークな魅力や見どころを発信することにある。グループ活動において、参加学生は、苫小牧市のALTの協力を得て、旅行プランを共同作成し、プレゼンテーションをしたところ、非常に高い評価を得ている。後に行われたアンケートでは、ほとんどの参加者が英語の学習意欲を大幅に向上させたと感じていることがわかった。

11:00-11:40 実践報告：森長 大輔（上川高校）

「地域とともに地域で学び社会と繋がる」

概要：

本校では連携型中高一貫教育の導入当初から地域社会とのかかわりを活かした教育活動を実践してきている。こうした実践の積み重ねを発展させ、「何ができるようになるか」「どのように学ぶか」を一層意識した指導を進めている。地域と共に歩み続ける学校を目指して、様々な課題はあるものの、多様な資源があるこの地域をフィールドとして、地域の課題から地球環境まで幅広く学ぶことができる授業を実施していくため、地域おこし協力隊、上川町役場・教育委員会など地域の方々との連携事業の充実を図っている。

11:45-12:25 研究報告：滝本 有香（留萌小学校・留萌管内教育研究所員）

「留萌市における小中高 CAN-DO リストを用いた英語力育成の取組について」

概要：

都市部ではない地域における英語力育成を考えるにあたり、公立小中学校はもとより高校との接続が重要と考え、留萌市小中高 CAN-DO リスト作成した。その後、どのように活用していくかについてお伝えしたい。